

AHA-JSPCCS 短期交換留学レポート

松尾久実代 in Children's Healthcare of Atlanta

アメリカに来て早くも1か月が過ぎました。2016年12月から3か月間の予定でAHAとの短期交換留学をさせて頂いています。留学先のChildren's Healthcare of Atlanta(CHOA)はアメリカでも最も大きな病院の一つです。心臓手術を年間700件、カテーテル1300件、胎児エコー1400件以上を行っており、複雑心奇形や移植を含め数多くの心疾患を治療しています。症例が非常に多く目まぐるしく日々が過ぎ去っていきます。

1か月目は画像、2か月目はカテーテル、3か月目はCICU中心に研修させて頂く予定です。画像分野では動画エコーを基本的に画像を技師が撮影し、医師が読影を行っていました。治療方針や手術方法にも技師が精通しており、細部まで診断できる綺麗な画像を撮る技術には目を見張るものがありました。CHOAでの研修で印象的だった事は①主治医制ではなく、画像、カテーテル、CICUと専門分野に細分化されて治療を行っていること ②手術介入の時期が日本に比べて圧倒的に早いこと ③入院期間の短さ ④fellowへのlectureの充実度 ⑤技師のレベルの高さでした。目新しい事が多く、カテーテル、CICUでの研修も楽しみでなりません。英語と新しい環境に不安を持ちながら出発しましたが、先生方、技師方、皆アットホームですれ違うたび優しく声をかけて頂いたり、自宅へ招待して頂いたり、楽しく充実した日々を過ごしています。ミシガンで働いておられる日本人の先生の施設も見学させていただきました。日本の先生がアメリカでどの様に働いておられるのかを実際に見てお話を伺えたことは非常にいい経験となり刺激となりました。

滞在中には観光も満喫しました。アトランタはアトランタオリンピックも開催された場所であり、コカコーラ博物館、世界最大級の水族館、CNNなど見所もたくさんです。クリスマスシーズンのニューヨークも満喫できました。

最先端の医療や技術の体験、異文化との触れ合いは医者人生にとっても、自分自身の人生にとってもかけがえのない素晴らしい経験となりました。是非他の若手循環器医の皆様にも経験して欲しいです。

最後に、日本小児循環器学会、AHA、CHOA、大阪母子保健総合医療センターの先生方、この様な貴重な機会を頂き本当に有難うございました。

